

「Biware EDI Station 2」では、通信手順の拡張性と分散システムへの対応の有無により、Standard版とProfessional版をご用意しております。

Biware EDI Station 2		Standard	Professional
運用管理	ジョブ管理	●	●
	スケジュール管理	●	●
	通信ログ管理	●	●
	ユーザー権限設定	●	●
	分散運用管理(管理・変換・通信ノード)	-	△
データ連携	基幹連携	WebAPI連携	●
		フォルダー監視	●
		コマンド連携	●
	データ変換	Easy Exchange	●
		変換処理	シングル マルチ
	通信手順	FAX*1	●
		全銀TCP/IP (LAN)	●
		全銀TCP/IP (広域IP)	●
		JX	●
		EDIINT AS2	-
		ebXML MS 2.0	-
		ebXML MS 3.0	△
		SFTP	△
	他社連携	Asteria Warp連携	△
		Hulft連携	△
同時接続数	インターネットEDI	JX、SFTP、ebXML (MS2.0、MS3.0)、EDIINT AS2	3 6 ^{※2}
	レガシーEDI	全銀TCP/IP (LAN/広域IP網)、FAX	4 8 ^{※2}

●標準搭載 △有料オプション
※1 別途まいと〜く Center hybridの購入が必要です。※2 有料オプションで追加が可能です。

機能一覧

通信手順

- 対応通信手順
EDIINT AS2、ebXML MS2.0、JX手順、ebXML MS3.0
全銀TCP/IP (広域IP網)、SFTP、全銀TCP/IP (LAN)、FAX
- FTP送受信(クライアント) ● データソート

データ変換

- データ変換ソフト「EasyExchange」を同梱

運用管理

- ワークフロー作成
- ワークフロー作成ウィザード
- スケジュール管理
- 運用状況監視
- 運用モニター
- リモートメンテナンス
- 通信ポート管理
- 送受信ファイル管理
- お知らせメール
- ログ表示
- バックアップ/リストア
- 流通BMSスキーマチェック
- ユーザー権限設定
- 送受信ファイル状況監視
- システムクリーンアップ
- 回線グループ
- 通信ポート待機
- サーバー負荷分散 (Professional版のみ)

基幹連携

- Web-API連携
- フォルダー監視
- コマンド連携

他社連携

- Asteria Warp連携
- Hulft連携

動作環境

※最新の動作環境および詳細についてはWebサイトをご覧ください。

	Standard	Professional
対応OS	Windows Server 2025 / 2022 / 2019 / 2016 ※日本語版OSのみ対応します。	
CPU	クロック周波数:4GHz以上、コア数:4コア以上	
ストレージ	20GB以上の容量	
メモリ	8GB以上(16GB以上を推奨)	
データベース	Microsoft SQL Server 2022 / 2019 / 2017 / 2016 ※本商品には、Microsoft SQL Server 2017 Express Editionがバンドルされています。	
Webブラウザ	Google Chrome(Windowsのみ) / Microsoft Edge(Windowsのみ) ※最新版を推奨します。	
その他	※管理ツールのサーバーマネージャーから、.NET Framework Ver.3.5および4.x.x(使用するWindows Serverに対応したバージョン4の.NET Framework)を有効化する必要があります。 ※FAXをご使用の場合、まいと〜く Center hybridが別途必要です。 ※通信頻度や通信ファイルサイズによって、上記各推奨値が異なる場合があります。 ※インストールメディアはDVD-ROMになります。 ※全銀TCP/IP手順をご利用の際は、ダイヤルアップルーターを使用したLAN接続を推奨いたします。 ※仮想化環境への対応、およびIaaS環境への対応については、弊社Webサイトをご覧ください。	

専用サポート窓口をご用意

お客様に安心してご利用いただけるようサポートサービス、運用支援サービスをご用意しています。

サポートサービス

- 電話・メールでのソフトウェアサポート
- リモートサポート
- バージョンアッププログラムの提供
- 保守ユーザー専用Webサイト(Biwareクラブ)

運用支援サービス(有償)

弊社スタッフがお客様の要件に合わせたインストール作業と疎通テストを行います。また、導入後お客様がスムーズに運用できるように使い方をレクチャーします。



Biware[®] EDI Station 2

EDIや基幹システムとのシームレスな連携を可能にする
システム連携基盤



流通・製造・金融など、
様々な業界EDIを将来にわたって支援します。



Web APIやアダプターなどによる業務システムとの連携からEDIによる企業間連携まで、企業のビジネスを支える様々なシステムの連携基盤を単一のソフトウェアで実現するべく、今後もさらなる連携を図っていきます。

※株式会社インターコム、interCOM、Biwareは、株式会社インターコムの登録商標です。※流通BMS、流通ビジネスメッセージ標準は、一般財団法人流通システム開発センターの登録商標です。※その他記載されている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。※本商品の内容・仕様および画面デザインは、予告なく変更する場合があります。

●開発・販売
株式会社 **インターコム** <https://www.intercom.co.jp/>
本社 〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3 富士ソフトビル
TEL : 03-4212-2772



▼事業所一覧
インターコムの
マスコット
チャーリー

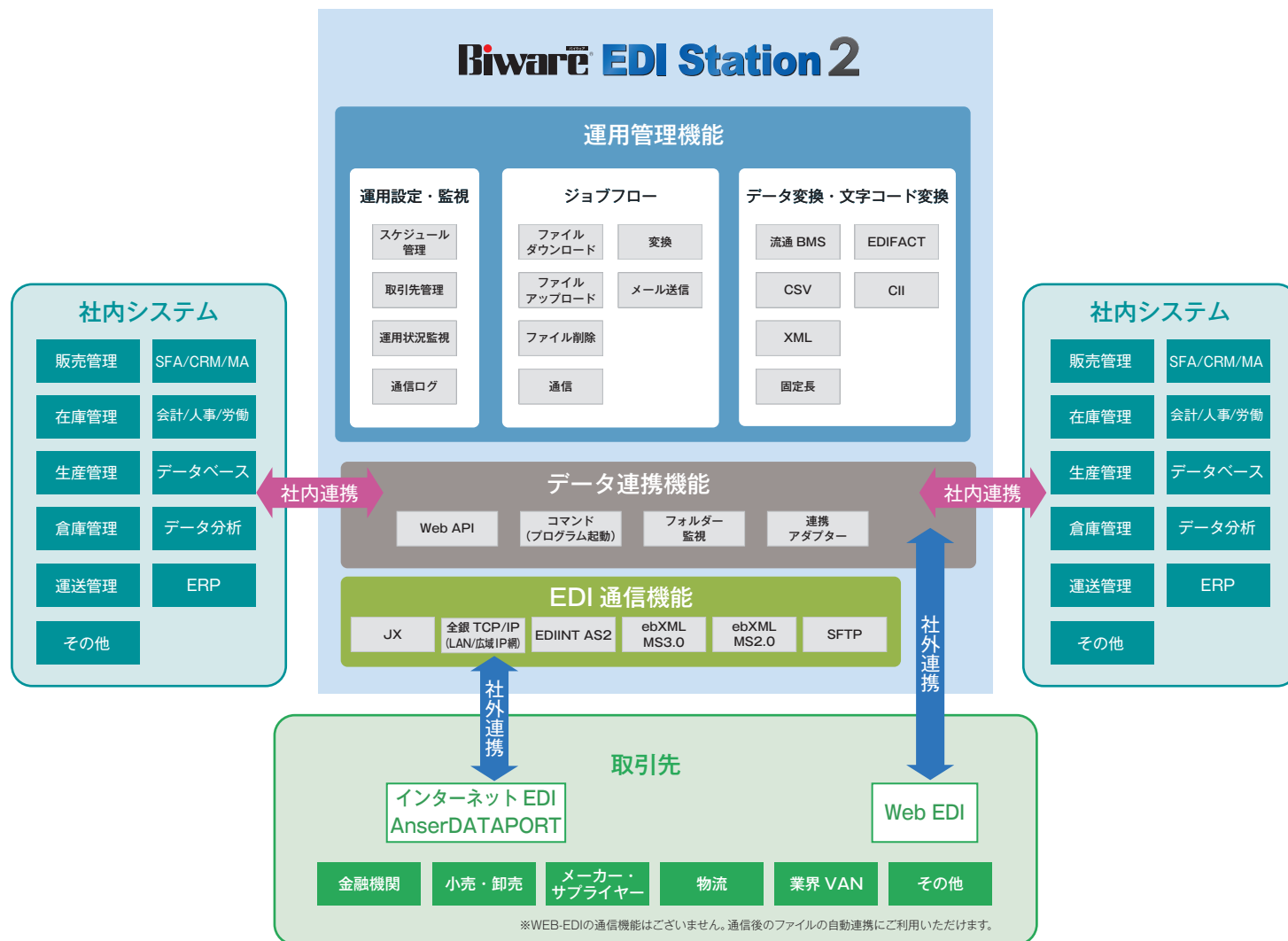
東北営業所 中部営業所 西日本営業所 九州オフィス

企業間取引・各種業務を支える、 システム連携基盤

Biware
EDI Station 2

Web APIやアダプターなどによる業務システムとの連携からEDIによる企業間連携まで、企業のビジネスを支える様々なシステムの連携基盤を単一のソフトウェアで実現するべく、今後もさらなる連携を図っていきます。

システム概念図



POINT 1

取引先各社からの受注データを自社基幹システムへ柔軟に変換

柔軟な
データ変換

自社基幹データとEDI業界標準データの相互変換を実現します。さらに受信した取引データに対し、明細(レコード)単位でデータを並び替えることができます。例えば、複数の卸売企業から受信したメーカー向けの発注ファイルに対して並び替えを行い、各メーカーへそのまま送信するVANセンターでのご利用などに重宝します。

<対応変換形式>



企業内外のシステム連携を支援する各種機能

【仮想サーバー/IaaS運用に対応】

動作確認済みIaaS		
Amazon Web Services	Microsoft Azure	IBM Cloud ※2
アマゾン ウェブ サービス ジャパン株式会社	日本マイクロソフト株式会社	日本アイ・ビー・エム株式会社

※2 通話機能にFAXを利用した場合の運用については動作未検証となります。

【3種類のシステム連携手段をご用意】

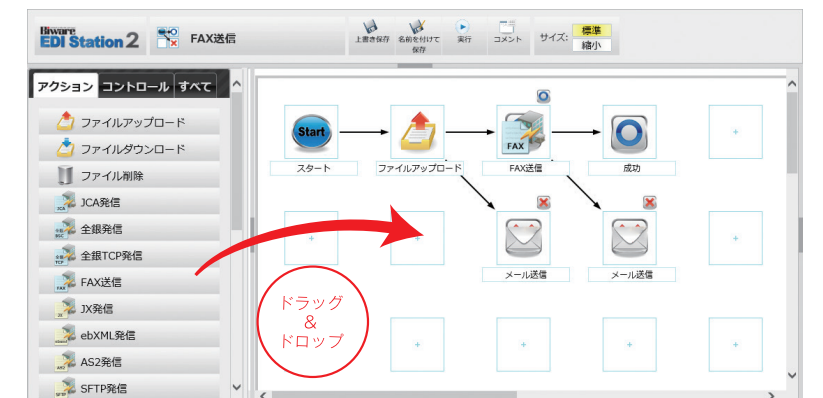
Web API連携	コマンド連携 (プログラム呼出し)	フォルダー監視 (出力ファイル連携)
-----------	----------------------	-----------------------

POINT 2

ノーコードでジョブフローを作成可能

専門知識不要

自動処理のルールとなるジョブフロー(ワークフロー)の定義は、アイコンを並べるだけで手軽に作成できます。プログラミングなどの専門知識は必要ないため、システム間連携とEDIの運用を属人化・ブラックボックス化することなく社内運用可能です。



POINT 3

インターネットEDIからレガシーEDI、FAXまで、様々な取引を一元管理

充実の
通信手順

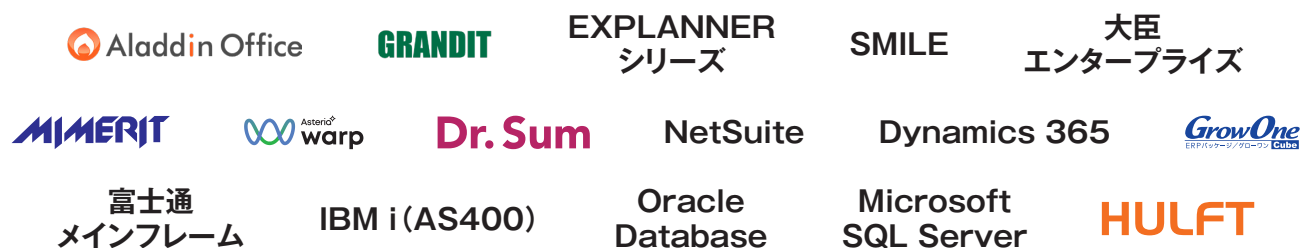
インターネットEDIからレガシーEDI、FAXまで国内標準手順を幅広くサポートしています。各種通信手順による取引を本システムで一元管理できます。

<対応通信手順>



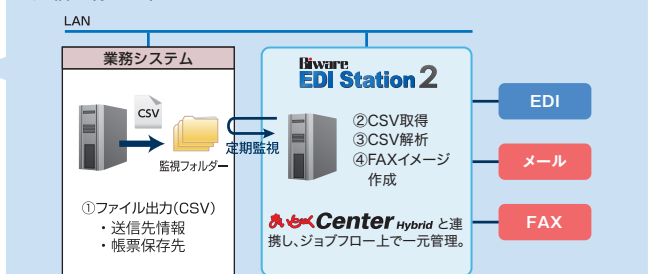
※1: JIEDIAが制定した「インターネットに対応した全銀TCP/IP手順」に対応しています。本通信手順は、一般社団法人全国銀行協会が制定した「全銀協標準通信プロトコル(TCP/IP手順・広域IP網)」に準拠しています。

システム連携実績



Center Hybrid と標準連携

「まいと〜 Center Hybrid」と連携。基幹システムが出力したCSVファイルを基に、複数の送信先へ異なる帳票イメージを順次自動でFAX送信が行えます。



※FAX連携には別途、「まいと〜 Center Hybrid」が必要です。